

記者発表資料

九州北部豪雨災害からの復興へ

うきは木材チップ活用社会実験

～浮羽バイパスや道の駅で間伐材を活用した防草対策を実証します～

うきは市では、平成24年7月の九州北部豪雨災害により甚大な被害を受け、この災害からの復旧・復興を目指した取組みを進めています。その中で、被災原因の1つとなった洪水時の流木被害を防止するため、荒廃した森林を適切に管理し、防災力の向上を図ることを目的に、森林の保全活動で発生する間伐材の有効利用方策について検討してきました。

この度、うきは市と国土交通省が連携し、国道210号浮羽バイパスや道の駅「うきは」等において、間伐材をチップ化して敷設し、防草対策としての効果等を実証する社会実験を行うこととしました。

また、社会実験の実施に際して、うきは市と国土交通省福岡国道事務所による社会実験に関する「協定締結式」、及び「うきは木材チップ活用社会実験協議会（第1回）」を、以下の通り行いますのでお知らせします。

(1) うきは木材チップ活用社会実験に関する協定締結式

<日時> 平成26年8月11日（月）13時30分～14時00分

<場所> うきは市役所 3階 小会議室

<内容> うきは市長と国土交通省福岡国道事務所長による協定締結

(2) うきは木材チップ活用社会実験協議会（第1回）

<日時> 平成26年8月11日（月）14時00分～15時00分

<場所> うきは市役所 3階 大会議室

<内容> うきは木材チップの社会実験計画（案）について

■ 報道関係の皆様へ

- ・取材は公開します。（冒頭から終了まで傍聴可能）
- ・今後の台風11号の影響により延期する場合は連絡します。

《問い合わせ先》

▼うきは市

災害対策推進室長

電話 0943-73-9152（直通）

たかせ あきら
高瀬 智

▼国土交通省 福岡国道事務所

道路保全課長

電話 092-681-4731（代表）

ちとせ やすひで
千年 康秀（内線：491）

九州北部豪雨災害からの復興へ

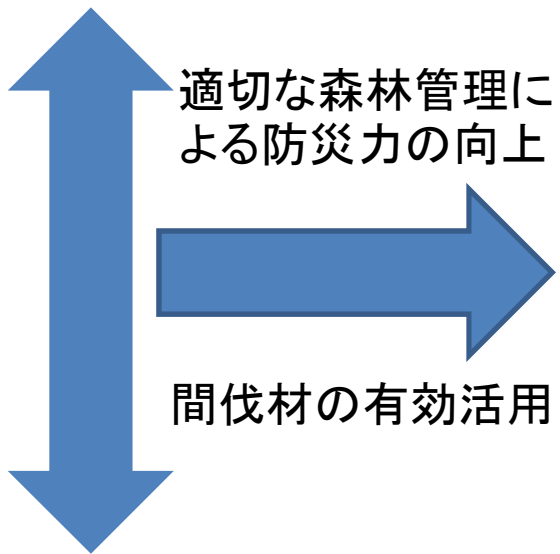
うきは木材チップ活用社会実験

課題：九州北部豪雨災害における流木被害

(H24.7流木被害)



(H24.7森林被害)



木材チップ生産機械



生産された木材チップ



木材投入

社会実験

課題：雑草が繁茂する浮羽バイパスや道の駅等

浮羽バイパス(植栽帯)



道の駅「うきは」



うきは木材チップ活用社会実験協議会メンバー

< 森林管理 >

浮羽森林組合	組合長	平川 光臣
--------	-----	-------

< 木材チップ生産者 >

浮羽チップ生産協同組合	代表理事	吉弘 辰一
-------------	------	-------

< 沿線区長 >

新治団地区	区長	菊竹 正美
-------	----	-------

< ボランティア団体 >

吉井コスモス街道	代表	家永 重信
フルーツロード保全会	会長	高木 勲美

< 道の駅 >

道の駅うきは	駅長	大力 絹夫
--------	----	-------

< 行政 >

国土交通省 福岡国道事務所	技術副所長	辻 芳樹
	久留米維持出張所長	大野 悟
うきは市 企画課長	課長	重松 邦英
農林・商工観光課	課長	野鶴 修
住環境建設課	課長	江藤 武紀
災害対策推進室	室長	高瀬 智

【事務局】

国土交通省 福岡国道事務所	道路保全課
うきは市	災害対策推進室